

※ 今週のアウトルック (2/2~2/6)

先週は、ギリシャ選挙で予想通り野党が勝利をおさめ、ユーロへの影響が心配されましたが、買い戻しが優勢となり、思いのほかユーロが上昇しました。

今週は、ギリシャとECBの交渉の行方、米国雇用統計などが焦点となりそうですが、先週と同様に、どちらへも動きづらい状況が継続する可能性もありそうです。

先週のドルは、狭いレンジ内でのみ合いとなりました。

FOMCも材料視されるようなこともなく、無難に切り抜けています。

今週は、雇用統計を控えているため、発表までは動きづらい展開になりそうです。このところのマクロ指数は、あまり良くないものが多かった為、雇用統計が特に予想外に良い数字であった場合には、大きく反応するかもしれません。

ドル円の予想レンジは116円から120円です。

先週のユーロドルは、ギリシャの選挙結果を織り込んでいたため、買い戻しが優勢となり、1.1のラインを切らずに折り返しました。

今週は、ギリシャとECBの交渉の行方に左右されそうですが、うまく交渉がまとまれば、このまま上昇に転じる可能性もあるように思います。

逆に交渉決裂のような結果となれば、再びユーロ売り再開となる可能性が高そうです。ユーロ円も130円を割り込むことになるかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは127円から137円です。

ポンド円は、当面の方向感を見出しづらい状況が継続しています。

今週はユーロの動きにどのように反応するか、注目したいところです。

ポンド円の予想レンジは174円から182円です。

今週は、米国雇用統計とギリシャ、ECBの交渉の行方が注目されますが、EUの要人発言にも注意が必要ないように思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。